

- ・「魔法」「評価」「書写」「毒」
- ・「霊媒」「霊話」
- ・「織成呪文」

魔法使いの基本

「魔法」「評価」「書写」「毒」
「霊媒」「霊話」
「織成呪文」

「魔法」 「霊媒」 「織成呪文」 が UO における魔法の基本スキルになります。

「評価」 は 「魔法」 ・ ・ つまりメイジ呪文の効果、「霊話」 は 「霊媒」 ・ ・ つまりネクロマンシィ呪文の効果にダイレクトに影響します。上げなくても魔法自体は使えますが、対応する魔法を有効に活用するためには上げておいた方が無難といえます。スキル構成によっては削ることを考える部分ではありますが。

「書写」 と 「毒」 は特定の呪文の効果に影響を与えます。それが目的なら一緒にスキルを上げる必要があります。

UO における呪文は非常に強力です。戦闘における強さ・ ・ という意味では、発動さえすれば確実に相手にダメージを与えられるとされてきました。ここ最近は侍の台頭により、必ずしもそうとは言えなくなっていますが、依然として強いことに変わりはありません。

ブリタニアには現在 3 つの呪文系統があります。それぞれに使うためのスキルがあるわけですが、呪文の使い方は共通しています。なので、その共通部分について、まずは説明を簡単にしておき、その後個々のスキルのところで使用できる呪文の解説をしていきます。また、呪文を役割ごとにまとめて解説しているページもあるので、魔法使いに求められることについて御一考ください。

実際に呪文を使いたい時は、それぞれの spellbook をダブルクリックして開きます。メイジ呪文は下の方にある数字から、使いたい呪文のサークルの数字をクリックすれば、そのサークルのページに飛べます。それ以外の呪文はサークルは無いのですぐに探せるはずです。

で、使いたい呪文名をダブルクリックすれば、キャラクターの頭上にパワーワードが表示され、呪文詠唱が始まります。詠唱時間が終わり、それぞれのスキル判定に成功したら、呪文は発動します。

ちなみに、spellbook を開いた時、呪文名をシングルクリックすると、それぞれの呪文の説明ページに飛べます。メイジ呪文の場合は、必要な秘薬の名前が書かれていますね。

そのページにある呪文アイコンをダブルクリックすることでも呪文を使えます。さらに、このアイコンはドラッグすると spellbook の外に引っ張り出せます。

引っ張り出した呪文アイコンは spellbook を閉じてても残るので、以後はいちいち spellbook を開かなくても、そのアイコンをダブルクリックして呪文を使えるようになります。

本当によく使う呪文の場合は、CastSpell マクロを登録しておく方が良いでしょう。

あとは呪文ごとに決まった時間が経過したら発動します。この時間を詠唱時間と呼び、その間キャラクターは移動が出来なくなります。さらに詠唱時間中にダメージを受けると、詠唱を妨害されたことになり呪文発動は失敗します。

乱戦状態で魔法を使用するのはかなり難しいことになりますが、メイジ呪文の Protection をかけていれば詠唱妨害は防げます。その代わり、詠唱時間が余分に掛かり、防御力が大幅に低下するペナルティがあるので、やはり乱戦状態に巻き込まれないようにするのが無難です。

呪文発動のスキル判定は詠唱時間終了後に行われるので、詠唱時間を待った挙句、発動は失敗・・・という切ない状況も何度となく見ることになるでしょうね・・・。それは何度も使い続けてスキルを上げていくことで、次第に解消されていきます。

呪文をかける対象を指定する必要がある場合は、発動後 ターゲットカーソルが出ますので、それで対象を タゲ れば OK です。敢えて タゲ らずにおいておく (ターゲットカーソルが出たままにしておく) ことを「プレキャスト」と呼びます。任意のタイミングで呪文を発動できますが、30 秒以上プレキャストすると呪文発動自体がキャンセルされます。

魔法戦士が攻撃呪文をプレキャストして、自分の武器攻撃と一緒に魔法を同時発動させて短時間で大ダメージを与える・・・とか、Invisibility をプレキャストしてダンジョンの中に入り、すぐさま透明になって安全を確保する・・・とか、戦っている仲間がいるとき回復呪文をプレキャストしてピンチになったらすぐに掛ける・・・というような使い方をします。

なおプレキャストした状態で、武器の SpM や戦士系スキルのアビリティをセットすると、プレキャストが解けてしまうので注意しましょう。

「魔法」を使う際に spellbook 以外のものを手に持っていた場合、「詠唱可」のプロパティが付いていなければ、それが装備解除されます。武器を使って戦うキャラクターが「魔法」を使うときは充分注意しましょう。

この装備解除のタイミングは、呪文詠唱を開始した時と、ターゲットカーソルが出たときに対象を タゲ った時の 2 回にわたります。プレキャストしていたときは、この点にも注意する必要があります。

■ spellbook(呪文書) と scroll(巻物)

魔法を使うためには、必ず spellbook が必要になります。これはそれぞれの魔法ごとに存在し、そこに書き込まれた呪文ならば自由に使用が可能です。呪文書には何も呪文が入っていないのが初期状態で、そこに個々の呪文の scroll(巻物) をドロップすることで呪文を書き足していく必要があります。とはいうものの、既に全ての呪文が書き込まれた spellbook が、PC ベンダで売られていることもあります。

spellbook は手に持つことも出来ませんが、使う分には バックパック の中に入っていれば問題ありません。ただマジックプロパティが付いた spellbook もあり、そのプロパティの効果を得たいのであれば、実際に手に持つ必要があります。異なるプロパティの spellbook を使い分けたい時でも、1 冊呪文が書き込まれた spellbook を持っていれば、後は空っぽの spellbook でも問題ありません。

「魔法」の spellbook は「書写」で作成が可能で、その際 作成者の「魔法」が GM 以上ならマジックプロパティが付加される可能性があります。その呪文 scroll も「書写」で作成が可能です (低サークルの scroll は NPC から購入可能です)。魔法を使うモンスターの多くは scroll を落としますし、トレハン でも大量に入手できますが、基本的には「書写」利用になるでしょうね。

「書写」は「魔法」の呪文効果をサポートする効果もあるため、「魔法」と一緒に覚えておくが無駄がありません。

メイジ呪文の一覧はこちらになります。

「霊媒」の spellbook は NPC から買うしかありません。現状では 8 周年記念アイテムの 1 つにマジックプロパティの付いた「霊媒」用 spellbook がありますが、PC は作成できません。呪文 scroll は「書写」でも作成可能になりました。それまではモンスターから拾うかトレハンをやる以外に入手の手段はなかったので、フル spellbook を作るのには手間が掛かりました。

ネクロマンシィ呪文の一覧はこちらになります。

「織成呪文」の spellbook は、アーケニスト (織成呪文の使い手のことです) になるためのクエストを終わらせなければ入手できないし使えません。その呪文 scroll も「書写」では作れませんので、モンスターから拾うしかありません。「UO:ML」で登場したモンスターであれば「織成呪文」の呪文 scroll を持っている可能性があります。ただし、Summon Fey と Summon Fiend については、それぞれの習得クエストをこなさなければ、呪文自体を使用できません。他の人から scroll を貰っても使えないものは使えません。

アーケニスト呪文の一覧はこちらになります。

-
- ・「魔法」「評価」「書写」「毒」
 - ・「霊媒」「霊話」
 - ・「織成呪文」
-